

第16回 全国障害者芸術・文化祭 あいち大会

会期：平成28年12月9日(金)～11日(日)

[美術・文芸作品展は12月3日(土)～11日(日)]

場所：名古屋市栄周辺



第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会は、
ゲイジユツのチカラで、作る人・見る人、そして、障害のある人・ない人の
心を変える大会を目指しています。

《お問い合わせ》第16回障害者芸術・文化祭実行委員会事務局

〒460-8501

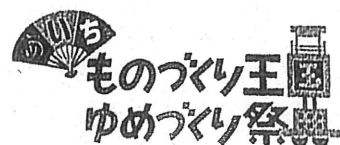
愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 愛知県健康福祉部障害福祉課内

TEL:052-954-6697/FAX:052-954-6920

E-mail: shogai@pref.aichi.lg.jp

ホームページ: <http://www.powerofart-aichi.jp>

【協力連携】



第31回国民文化祭・あいち2016
平成28年10月29日(土)→12月3日(土)

第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会とは

全国から障害のある方の美術・文芸作品、音楽やダンス等の舞台芸術を募集し、発表する大会です。

関連イベント 「第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会」プレイベント

🍷 あいちアール・ブリュット展(障害者アート展)

開催日 平成27年12月1日(火)～12月6日(日)

会場 名古屋市民ギャラリー矢田

内容 県内から募集した障害のある方の美術・文芸作品の展示など

🏠 あいちアール・ブリュット優秀作品特別展

開催日 平成28年3月15日(火)～3月21日(月・祝)

会場 愛知芸術文化センター

内容 あいちアール・ブリュット展の中から選定された優秀作品の展示など

マスコットキャラクター からくりロボットのブンゾー

- からくり人形師 九代玉屋庄兵衛氏の「茶運び人形」
- 愛知県の文化事業のマスコットです。

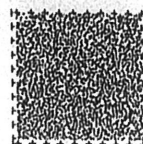


第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会

主催：厚生労働省、愛知県、名古屋市

協力：愛知県市長会、愛知県市議会議長会、愛知県町村会、愛知県町村議会議長会、社会福祉法人愛知県社会福祉協議会、愛知県身体障害者福祉団体連合会、愛知県肢体不自由児・者父母の会連合会、愛知県知的障害者育成会、一般社団法人愛知県知的障害者福祉協会、愛知県精神障害者家族会連合会、愛知県精神科病院協会、愛知県自閉症協会・つばみの会、愛知県文化協会連合会、愛知県高等学校文化連盟、愛知県公立文化施設協議会、愛知芸術文化協会、公益財団法人愛知県文化振興事業団、あいちトリエンナーレ実行委員会、愛知県立芸術大学、一般社団法人中部経済連合会、愛知県商工会議所連合会、愛知県商工会連合会、一般社団法人愛知県観光協会

後援：NHK名古屋放送局、株式会社CBCテレビ、東海テレビ放送株式会社、中京テレビ放送(株)、名古屋テレビ放送株式会社、テレビ愛知株式会社、株式会社中日新聞社、朝日新聞名古屋本社、毎日新聞社中部本社、株式会社読売新聞東京本社中部支社、株式会社日本経済新聞社名古屋支社、株式会社産業経済新聞社中部総局、一般社団法人共同通信社名古屋支社、株式会社時事通信社名古屋支社、株式会社岐阜新聞社名古屋支社、株式会社日刊工業新聞社名古屋支社、株式会社中部経済新聞社、株式会社東愛知新聞社、信濃毎日新聞社名古屋支社、株式会社東京スポーツ新聞社中部支社、株式会社スポーツニッポン新聞社名古屋総局、愛知県公立高等学校長会、愛知県私学協会、一般社団法人愛知県専修学校各種学校連合会、愛知県小中学校長会、愛知県特別支援学校長会、名古屋芸術大学、名古屋造形大学、名古屋音楽大学、金城学院大学、名古屋学芸大学、国立大学法人愛知教育大学



障害者の芸術活動支援モデル事業の概要

[平成28年度予算案 1.1億円]

○ 障害者の芸術活動への支援を推進するための懇談会中間とりまとめ(平成25年8月26日)を踏まえ、芸術活動を行う障害者及びその家族並びに福祉事業所等で障害者の芸術活動(※)の支援を行う者を支援するモデル事業を実施し、その成果を普及することにより障害者の芸術活動の支援を推進。

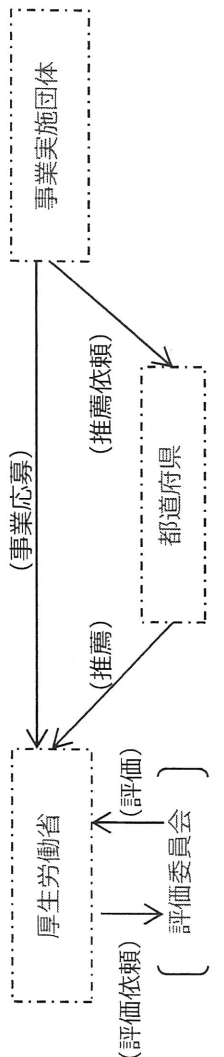
1. 対象事業・補助上限額・補助率

対象事業	(必須事業)	(必須事業)	(3)調査・発掘、評価・発信 (任意事業)	(4)モデル事業連携事務局の設置 (任意事業)
<p>美術活動に取り組む障害者やその家族、支援者に対する支援を推進するため、障害者による美術活動への支援方法や著作権保護に関する相談への対応、美術活動を支援する人材の育成、関係者のネットワークづくりや展示会の開催を行うことを目的として設置。 加えて、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラムのより効果的な展開を図るための取組を行う。</p>	<p>事業実施計画やその進捗状況の確認、事業実施の協力を行う協力委員会を設置。 (構成員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施団体の代表 ・ 都道府県の障害福祉担当職員・文化芸術担当職員 ・ 障害者の美術活動を支援する福祉事業所が加盟する団体の代表 ・ 学芸員、弁護士など 	<p>学芸員と実施団体が連携して、作品と制作する障害者の調査・発掘を行い、専門家による評価委員会で評価し、企画展により発信する一連のプロセスを実施</p>	<p>モデル事業連携事務局を設置し、次の事業を行う。 ア. 実施団体間の連絡調整、連絡会議の企画、モデル事業全体の成果報告のとりまとめ イ. 実施団体間の情報共有、意見交換を行うための連絡会議設置 ウ. 障害者団体芸術ネットワークとの連携 エ. 文化プログラム調査・研究のとりまとめ ※ (1)～(3)までの事業を全て行う実施団体の中から1団体を選定</p>	

補助上限額	【補助率】
(1)及び(2)の事業を実施	24,000千円以内
(1)、(2)及び(3)の事業を実施	
(1)、(2)、(3)及び(4)の事業を実施	

2. モデル事業の実施団体の選定の流れ

各都道府県が推進してきた団体の事業内容について、外部有識者から構成される『評価委員会』において総合的な評価を行い、予算の範囲内で実施団体を決定



2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた 障害者の芸術文化振興に関する懇談会の開催

- ◆ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、関係者相互の情報共有やネットワークの構築を図るとともに、障害者の芸術文化の振興に資する取組について、広く関係者による意見交換を行う。
- ◆ 平成27年6月30日、12月9日に開催。

構成員

- ◆ 今中 博之 アトリエインカーブクリエイティブディレクター
社会福祉法人素王会理事長
- ◆ 上野 密 一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会常務理事
- ◆ 岡部 太郎 一般財団法人たんぼの家事務局長
- ◆ 小林 真司 鳥取県福祉保健部障がい福祉課長
- ◆ 重光 豊 特定非営利法人障害者芸術推進研究機構天才アートミュージアム副理事長
- ◆ 柴田 英杞 京都市教育委員会指導部総合育成支援課参与
- ◆ 鈴木 京子 公益社団法人全国公立文化施設協会事務局参与
出雲市芸術文化振興アドバイザー
- ◆ 田中 正博 国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）事業プロデューサー
全国手をつなぐ育成会連合会 統括
- ◆ 田端 一恵 社会福祉法人グロー～生きることが光になる～ 法人本部企画事業部総括
- ◆ 野沢 和弘 毎日新聞論説委員
- ◆ 日比野 克彦 東京芸術大学美術学部教授
- ◆ 保坂 健二郎 独立行政法人国立美術館・東京国立近代美術館主任研究員
- ◎ 本郷 寛 東京芸術大学美術学部教授

「◎」は座長

（敬称略・50音順）

オブザーバー

- ◆ 内閣官房東京オリンピック
競技大会・東京パラリンピック
競技大会推進本部事務局
- ◆ 内閣官房まち・ひと・しごと
創生本部事務局
- ◆ 内閣府政策統括官
（共生社会政策担当）
- ◆ 外務省（大臣官房文化交流・
海外広報課）
- ◆ 国際交流基金
- ◆ 東京オリンピック・パラリン
ピック競技大会組織委員会
- ◆ 関係自治体 等

Big-iとは?

「国際障害者交流センター（愛称ビッグ・アイ）」は、「国際・障害者の十年」を記念して、全国の障がい者の「完全参加と平等」の実現を図るシンボリックな施設として、建設されました。



ビッグ・アイは、三つの基本理念に基づき、四つの機能を活用して、四つの事業を展開します。

三つの基本理念

1. 障がい者が主役
2. 芸術・文化活動や国際交流を通して障がい者の社会参加の促進
3. 多くの人に親しまれる施設

四つの機能



◎多目的ホール



◎研修室

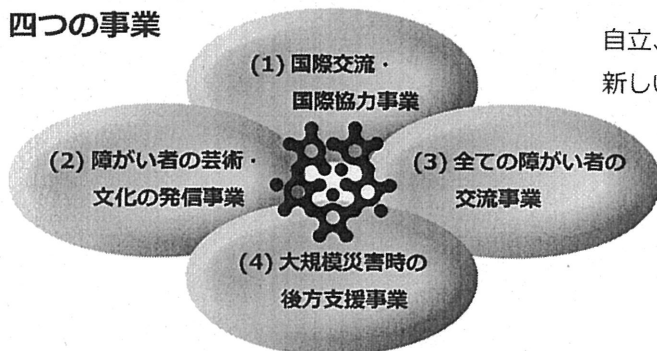


◎宿泊室



◎レストラン

四つの事業



自立、参加、そして交流
新しい時代のノーマライゼーションのために

Independence : 自立

Information : 情報

Intercommunication : 交流

International : 国際的

Big-i 完全バリアフリー対応であらゆる人々にとって利用しやすく、また障がいのある人もない人も、誰もが参加・交流できる施設です。

1) 共生社会のモデル施設としての役割	・鑑賞サポート支援 ・アウトリーチ ・啓発 など
2) 自己実現と自立につなげる	・アートプロジェクト ・シアタープロジェクト ・劇場体験プログラム など
3) 異文化の交流	・アートフェスティバル ・アートキャンプ ・国際会議、海外展覧会への出品と作家間の交流 など
4) 災害時の後方支援	・災害時要援護者支援ボランティアリーダー養成講座 ・災害時視聴覚障がい者支援リーダー養成講座など
5) 情報発信	・情報誌 i-co の発刊 ・WEB への情報発信、提供など
6) 地域、他機関との交流および連携事業	・ボランティア養成と協働 ・産官学との連携事業の実施 ・職場体験など



〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台1-8-1
TEL:072-290-0962 FAX:072-290-0972
e-mail:info@big-i.jp http://www.big-i.jp

国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）の主催事業（案内）

平成28年2月末現在

下記は開催日が決まっているものについて掲載しています。

最新情報については随時ビッグ・アイホームページで、ご案内します。

<https://www.big-i.jp/>

no.	事業日	開催日	開催場所	内容
1	ビッグ・アイ アートプロジェクト 巡回展「共振×響心」	2016年5月 2日～9日	東京・渋谷 東急文化村	国内外の障がいのある人を対象にしたアート作品を公募し、美術専門家などによって選ばれた作品巡回展。
		2016年5月 12日～15日	神奈川・横浜 横浜ラポール	
		2016年5月 17日～6月5日	石川・金沢 金沢21世紀美術館	
2	ビッグ・アイ アートプロジェクト アートキャンプ	2016年8月 13日・14日	ビッグ・アイ 研修室 他	障がいの有無や種別、年齢に関らず、多様な人が集まり一つのアート作品を2日間で創作するワークショップ。ワークショップ期間中には、アート創作以外に交流会やリレーションなどいろんなプログラムを通じて交流を深めていく宿泊型のワークショップ。
3	大阪府障がい者 芸術・文化フェスタ・ コンテスト	◎フェスタ 2016年9月 17日・18日・19日 ◎コンテスト 2016年11月 12日	ビッグ・アイ 多目的ホール	音楽、演劇、ダンスなど舞台芸術活動をおこなう障がい者や障がい者団体を対象に日頃の成果を発表する場として開催。 コンテスト形式の舞台発表として開催し、優秀な発表者（団体）は11月におこなう本選大阪府障がい者芸術文化コンテストに出演する。
4	知的・発達障がい児者 のための 劇場体験プログラム	2016年10月 23日・29日 ・11月6日	ビッグ・アイ 多目的ホール	様々な理由で地域の劇場で鑑賞のできない知的・発達障がい児（者）が劇場の「しくみ」や公演中におこる「出来事」について鑑賞体験を通じて鑑賞マナーやルールを学べる体験型の公演。 映画・音楽・演劇とジャンルの違う内容で3回実施する。
5	ビッグ・アイ アート フェスティバル	2016年11月 26日・27日	ビッグ・アイ 多目的ホール 他 （全館）	障がいのある人、ない人が共に表現者として参加者として多様な芸術文化に触れ、感動を分かち合える総合芸術祭。 多様な障がいに対応した鑑賞サポートや舞台サポートを実施している。

上記プログラムはいずれも無料の予定です。

視察としてご鑑賞をご希望の方は、下記までお申込み下さい。



国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）事業企画課
〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台1-8-1
TEL 072-290-0962
FAX 072-290-0972
E-mail info@big-i.jp